安威川ダム　第６７回岩盤判定会議　議事要旨

日　　時：令和元年6月6日（木）　１４：００ ～ １６：００
場　　所：安威川ダムJV事務所　会議室
出 席 者：別紙「出席者一覧」のとおり
資　　料：第６７回 岩盤判定会議資料 (別冊資料含む)
検査対象：＜地盤検査＞

フィルター敷き 河床下流部：No.13+18～No.14+8、DC+25～DC+30
ロック敷き 河床下流部　　：No.13+5～No.14+9、DC+30～DC+44
ロック敷き 左岸下流部　　：No.16+5～No.16+11、DC+77～DC+108

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）

（ロック敷き左岸下流部）
- No16+5 DC＋78～80 付近の亀裂部の幅が狭く、通常のロック材では盛立が困難である。適切に締固めが可能となるように広げてから施工すること。
- No16+5 DC＋86 付近および No16+8 DC＋100 付近　法面の一部にオーバーハングしている箇所がある。オーバーハング部を除去すること。
- No16+5 DC＋92 付近の亀裂及び凹部については、細粒ロック材をランマー等を用いて人力により丁寧に盛り立てること。
- No16+8 DC＋83 付近のアプライト脈上に浮石が見受けられたため、盛立時に除去すること。

（フィルター敷き河床下流部）
- No14+8 DC＋28 付近　凹部が見受けられたため、転圧不足にならないよう、丁寧に盛立を行うこと。
- No13+18 、DC＋29 付近　掘削に伴う削孔痕についてはモルタル等で密実に充填を行うこと。

（ロック敷き河床下流部）
- No14+8～10　深い凹部の盛り立て時は、何層かに分けて丁寧に撤き出しを行い施工すること。
- No14+6 DC＋35　付近　細粒ロック材を用いて盛り立てること。

概　　要

〇前回議事要旨および是正報告資料に関する指摘事項
- 特になし。

〇資料に関する指摘事項
- 特になし。

〇現場における指摘・是正事項

（ロック敷き左岸下流部）

・No16+5 DC＋78～80 付近の亀裂部の幅が狭く、通常のロック材では盛立が困難である。適切に締固めが可能となるように広げてから施工すること。

・No16+5 DC＋86 付近および No16+8 DC＋100 付近　法面の一部にオーバーハングしている箇所がある。オーバーハング部を除去すること。

・No16+5 DC＋92 付近の亀裂及び凹部については、細粒ロック材をランマー等を用いて人力により丁寧に盛り立てること。

・No16+8 DC＋83 付近のアプライト脈上に浮石が見受けられたため、盛立時に除去すること。

（フィルター敷き河床下流部）

・No14+8 DC＋28 付近　凹部が見受けられたため、転圧不足にならないよう、丁寧に盛立を行うこと。

・No１３+18 、DC＋29 付近　掘削に伴う削孔痕についてはモルタル等で密実に充填を行うこと。

・No14+２、DC＋３０　現場で湧水が確認された。資料に追記すること。

（ロック敷き河床下流部）

・No14+8～10　深い凹部の盛り立て時は、何層かに分けて丁寧に撒き出しを行い施工すること。

・No14+6 DC＋35　付近　細粒ロック材を用いて盛り立てること。

〇その他の意見

・特になし。

＜地盤検査官のコメント＞

前回の指摘事項については、写真等により是正状況の確認ができた。

また、本日検査した３か所ロック敷き左岸下流部、ロック敷き河床下流部、フィルター敷き河床下流部については所定の岩盤であることを確認した。